

# 令和2年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 弓削小学校プラン

《学校の教育目標》 豊かな心と自ら学ぶ強い意志をもち、たくましく生きる子どもの育成  
《本年度 学校の重点目標》 つながりを深める子どもの育成

基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、他の学習や生活場面に生かすことができる。  
【つくる力】

相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの考えを取り入れながら協働できる。  
【つなぐ力】

めあてを達成する方法を決め、実行し、振り返りながら、あきらめずに挑戦しようとする。  
【つらぬく力】

## 学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②ねらいや活動を絞り、情報を絵、写真、図、動作等で視覚的に示す。(国語・算数 毎時間)
- ③ ICTを活用して教材の提示、情報収集等を行う。(週1回)  
【成果指標】「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用している」と答える児童の割合が80%以上
- ④教員のスキルアップ研修の実施(学期1回)。ペアで自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(外国語 毎時間)
- ⑤人権を基軸とした道徳科の授業展開

## 笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の目的と人数・時間設定が適切かを見直す。(学期1回)提案資料(かかる時間も記入)は、事前配布をする。(毎回)  
【成果指標】「先生は分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が85%以上

## 協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

## 楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応の徹底(毎日)。不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有(月1回、臨時議題があれば特設で行う)。学校生活の状況や悩みを把握する児童・教員の2者面談を行う。(学期1回)【成果指標】不登校数を減らす(対策を進める)。いじめの認知件数が10%増加
- ②児童会、委員会が主体となった「休み時間の安全な過ごし方・廊下の通り方」「けが人数とけがの種類、発生場所、原因」を伝える取組を行う。(月1回:全校集会)
- ③ペア学年での児童集会(ゆげっ子タイム)でを開催し、自分や友達の活動のよさを振り返る活動を行う(月1回)。ペア学年でのゆげっ子タイムでの学び合いを行う。(月3回)学び合いの実施ペア・グループで考えを話し合い、相互評価する活動を行う。(毎日1回)

## 【体力向上】

- ①基礎体力を高めるために体育の時間のはじめに固定遊具を活用したサーキットを毎時間する。
- ②毎週月曜日の元気っ子タイム(縦割り班での外遊び)(「1校1取組」運動)
  - ・体力アップシート活用率:目標95%
  - ・スポコン広場登録学級数:目標2学級

## 【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「あいさついっぱい運動」のアイデアを児童会で募集し、全校で実施・評価する。(毎学期)
- ②「だまってそうじ」を合言葉に、掃除後の振り返りタイムでよさを出し合う。(毎日)
- ③家庭学習のしおりと家庭学習カードの活用(全学年学期1回)。高学年は自学を実施・評価。(毎日)

## 基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要綱 P110~参照]
- 【特別支援教育】 「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。 [要綱 P120~参照]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。 [要綱 P140~参照]